

子牛の呼吸器病にご注意を

子牛の呼吸器病といえば、冬の寒い時期に増える傾向がありますが、今年は夏場の暑い時期にも病性鑑定依頼があり、ウイルスやマイコプラズマが関与した呼吸器病が散見されました。

これから夏の暑さも和らぎ、涼しい季節を迎えますが、気温の変化が激しい季節の変わり目は特に体調を崩しやすくなります。衛生管理や適切なワクチン接種を行い子牛の呼吸器病による被害を減らしましょう。

予防対策について

①牛のストレスを減らす

牛の密飼いや換気不良、寒さなどは牛のストレスを増加させます。牛のストレスが増えると免疫力が低下し、病原体に感染しやすくなります。

適切な温度管理や換気、密飼いの防止に努め牛にかかるストレスを減らしましょう。

②病原体を減らす


牛舎の清掃消毒を行い、牛の体内に侵入する病原体の量を減らすことも病気の発症を防ぐための有効な手段です。

また、動力噴霧器や石灰帯による車両消毒、踏込消毒槽による靴底消毒などにより、牛舎に侵入する病原体も減らしましょう。

③ワクチンを接種する

呼吸器病の予防にはワクチン接種が有効です。ワクチン接種は感染を防ぐだけでなく、牛群内での病原体の増殖や拡散も防ぐ効果もあります。また、母牛にワクチン接種をすることで、初乳から子牛への移行抗体による免疫も得ることができます。

ワクチン接種については、接種時期や接種回数など獣医師とよく相談してから実施するようお願いします。

御相談等がございましたらお気軽にお問い合わせください
連絡先はこちら 

愛知県東部家畜保健衛生所 TEL 0532-45-1141